

平成 30 年第 13 回中津川市教育委員会（定例会）議事録

日 時 平成 30 年 12 月 19 日（水） 午後 3 時 15 分～

場 所 にぎわいプラザ 4-1 会議室

出席委員 教育長 本多 弘尚
委 員 小栗 仁志 田島 雅子 林 由美 三尾 和樹

事務職員 早川事務局長・小木曾教育次長（兼）学校教育課長・大塚事務局長次長（兼）施設計画推進対策監・末木事務局次長（兼）教育企画課長（兼）施設計画推進室長・大巾文化スポーツ部長・丹羽文化スポーツ部次長・丹羽幼児教育課長・足立子育て政策室長（兼）子育て支援センター所長・林阿木高等学校事務長・池戸生涯学習スポーツ課長（兼）少年センター所長（兼）勤労青少年ホーム所長・野村文化振興課長（兼）市史編さん室長・二村図書館長（兼）蛭川済美図書館長・青木文化スポーツ部統括主幹（併）中央公民館長・西尾鉱物博物館長

会議日程 1 開 会
2 前回議事録の承認
3 教育長報告
4 議 事
5 閉 会

番 号	件 名	結 果
議第 3 1 号	平成 3 1 年度中津川市立小中学校教職員の人事異動方針について	承認

■教育長 ただいまから平成 30 年第 13 回中津川市教育委員会を開催します。よろしくお願ひします。

初めに、中津川市すご技プロジェクトの文部科学大臣賞受賞について正式に決まりましたので報告いたします。子どもたちに働くということに関心を持ってもらう、それから地元企業への理解を深めてもらうということで、官民一体となった体験教育が評価されたということです。1 月 18 日に国立オリンピック記念青少年総合センターにて表彰式が行われる予定です。

日程第 2、前回議事録の承認につきましては回議とします。

日程第 3、教育長報告を行います。

前回の教育委員会以降の出席行事を中心に報告します。

11 月 22 日は中津川幼稚園研究発表会、25 日は加子母教育の日に出席しました。26 日は阿木高校への教育長訪問、28 日から 12 月市議会が始まりました。今年度、中津川ロータリークラブ様が防災士なかつがわ会様の協力を得て、市内小学校の備品転倒防止のための固定作業を行なってくださいました。その報告会が 28 日にありました。会の中で市長から感謝状を贈っていただきました。29 日は福岡中学校への教育長訪問、同日、岐阜県特別支援学級設置校校長会が東美濃ふれあいセンターを会場に行われました。また、同日、医療懇談会が行われ参加しました。30 日は新ふくおか小学校統合準備委員会、12 月 1 日には島崎藤村記念文芸祭表彰式、2 日には杉の子幼稚園生活発表会、3 日は東濃地区教育長会、6 日は校長会に出席しました。7 日、10 日は市議会の一般質問がありました。8 日は加子母立志式に出席しました。11 日は石原電気様より苗木小学校へ図書を寄贈していただき、お礼をお伝えしました。14 日は市議会文教民生委員会、15 日は発達支援センターつくしんぼのクリスマス会でサンタを務めさせていただきました。16 日は阿木交流センター安全祈願祭、同日、市民展表彰式が行われました。17 日は市議会予算決算委員会がありました。

今後の主な予定ですが、21 日は市議会の最終日です。1 月 5 日には消防出初式、13 日には成人式が行われます。

私からは以上です。

次に事務局及び文化スポーツ部からそれぞれ報告をします。早川事務局長。

■事務局長 それでは前回以降の主な出席行事等についてご報告します。

11 月 21 日、坂下高等学校活力ある高校づくり推進協議会に出席しました。22 日は中津川幼稚園の研究発表会がありました。26 日は中津商業高校の活力ある高校づくり推進事業の協議会が開催され、教育長さんの代理で出席しました。28 日は市議会本会議がありました。夜はロータリークラブの例会があり、今年度防災士なかつ

がわ会様とともに小学校の家具の転倒防止対策を実施してくれたことに対して感謝状を贈呈しました。ロータリークラブから防災士なかつがわ会様への感謝状贈呈もありました。29日は福岡中学校の教育長訪問、夜は子ども子育て会議を開催し、こども園の進捗状況の説明、次期子ども子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査の説明、病児病後児保育施設の進捗、平成31年度予算要望についてなどを審議いただきました。30日は新ふくおか小学校統合準備委員会の第1回目の会合があり、委員長や副委員長の選出、3つの部会で審議する内容など検討いただきました。12月6日は校長会がありました。

7日、10日は一般質問がありました。教育委員会へは2人の議員さんから質問がありました。吉村久資議員は来年度予定されている幼児教育無償化に関してのご質問で、市が行っている独自の負担軽減にかかる費用を他のことに使えないかのご質問でしたが、幼児教育無償化については現在国で制度を検討中であるが、無償となる部分を国、県、市で負担しなければならず、市の負担が大きく軽減することはないと答弁しました。また、佐藤光司議員は学校施設の太陽光発電の実績について問われ、学校、保育園の9施設で太陽光発電を設置しており発電容量は177kwであるとお答えしました。14日は文教民生委員会で、教育委員会事務局からは「中津川市奨学資金貸与条例の一部改正について」と「中津川市病児保育所の設置等に関する条例について」、児童館の「指定管理者の指定について」審議いただきました。

16日は付知のぞみ幼稚園のクリスマス発表会がありました。17日は予算決算委員会があり補正予算を審議いただきました。

今後の予定ですが、21日が市議会本会議の最終日となります。28日が仕事納め式、1月4日に仕事始め式があります。5日は消防出初式が予定されています。13日が成人式、17日が校長会。21日に坂本幼稚園、南幼稚園の教育長訪問があります。

事務局長からは以上です。

■教育長 大巾文化スポーツ部長、報告をお願いします。

■文化スポーツ部長 それでは文化スポーツ部にかかわる主な行事や事業についてご報告します。

11月25日、清流の国秋の地歌舞伎公演が岐阜市で開催され、特別企画「凱旋公演」として、フランス・スペインで舞台に立った加子母歌舞伎保存会が「俊寛」を演じ、大変好評でした。同日、第7回なかつがわ図書館まつりが「深める」をテーマに開催され、昨年を上回る2,782名もの来場がありました。

11月28日、12月定例会が開会しました。一般質問が7日と10日に行われ、文化スポーツ部には、鈴木雅彦議員、粥川茂和議員、吉村久資議員、佐藤光司議員の

4名から質問がありました。主なものとして、吉村久資議員から使用料金の減免のあり方や負担の検討と見直しについて問われ、「使用料の見直しは減免によりその効果を失われることから、施設を具体的に限定し、施設使用料の改定に合わせて減免制度についても見直しを行います。平成31年度に市民へ具体の説明をし、平成32年度から実施する計画です」と答弁しております。

12月1日、第12回島崎藤村記念文芸祭表彰式が開催され、現代詩、短歌、俳句、エッセイ、創作部門の総数で作品数2,045点、応募者数1,594名あり、作品数が昨年を約400点上回りました。12月2日、第43回東濃地区スポーツ少年団駅伝交流会が土岐市で開催されました。12月8日、第67回中津川市民展が12月16日まで開催され、期間中の来場者数は1,239名でした。12月9日、第44回東濃歌舞伎大会が開催され、約600名の来場がありました。同日、レジストロ市より日伯文化協会副会長が来庁され、観光開発、人材派遣について意見交換を行いました。12月12日、第6回全国小・中学校リズムダンスふれあいコンクールへ出場される阿木小学校4年生激例会が開催されました。12月16日、阿木交流センター建設工事安全祈願祭が開催されました。同日、中津川市民展表彰式が開催されました。洋画、日本画、版画、彫刻、書、写真、工芸の7部門に223点の出品をいただきました。今回は身近に感じていただくよう観覧者の方の作品投票を投入し、より楽しんでもらいました。

今後の予定ですが、1月13日、中津川市成人式が「華-7592日のキセキ」をテーマとして開催されます。今回は平成10年4月2日から平成11年4月1日生まれの882名が対象となります。教育委員の皆さんもご出席をお願いしたいと思います。1月19日、はがきコンクール表彰式が図書館で開催されます。1月22日、第11回B&G全国サミットが東京で開催され、全国の首長、教育長が参加されます。

私からは以上です。

■教育長 ただいまの報告につきましてご質問ありましたらお願いします。

ないようですので、日程第4、議事に入ります。

日程第1議第31号「平成31年度中津川市立小中学校教職員の人事異動方針について」説明をお願いします。小木曾教育次長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 今、方針を出していただき、これから身を削って配置に取り組まれる小木曾教育次長に敬意を表します。頑張ってください。

伺いたいことは、女性と男性の比率です。中津川市、県、国で、女性と男性の教職員の比率をまず教えてください。

■教育長 小木曾教育次長。

■教育次長 手元にその比率の数値はございません。ですが、岐阜県を6地区に分けた、東濃地区自体が、女性の管理職の比率が非常に少ないです。さらにその中でも中津川は比較的lowめになっています。現状、中津川市に地盤を置く女性校長は1名、他市からみえた女性校長が2名、教頭も、中津川市を地盤にしている女性教頭は1名、現状他市で勤務している女性教頭が2名です。圧倒的に少ない状況です。

■教育長 田島委員。

■田島委員 すごく当たり前のことを聞いてしまって悪いですが、校長を含む管理職への道のりを教えてください。

■教育長 小木曾教育次長。

■教育次長 基本的には受験資格は特にございません。ですので、どの教員もある程度の経験数があれば受験をしてもかまわないわけですが、多くの方々は教務主任、生徒指導主事、市教育委員会、県教育委員会といった教育行政にかかわった方々が試験を受けて教頭に登用されるというパターンが多くあります。小学校では教務主任等を女性が担っていることが多くありますが、中学校では生徒指導も教務主任もほぼ男性ばかりですので、中学校での積極的な女性の主任層の登用なども必要かと考えています。

■教育長 田島委員。

■田島委員 先ほど女性管理職になる方が少ない理由の一つとして、目指す女性管理職の姿がないとおっしゃいました。確かにそれも一つだと思いますが、ほかにお考えはないですか。

■教育長 小木曾教育次長。

■教育次長 実際に私どもが管理職になる能力が十分にあると考えて、いかがですかとお声掛けをしても、「私は……」というふうに固辞される方がかなり多くいらっしゃいます。ですので、そういった意識というか、モデル像がないことによって、管理職になるという意識が全く培われてこないというのが大きな原因だとは思っています。それ以外には、介護や育児といった家庭の事情が大きく影響しているかと考えます。

■教育長 田島委員。

■田島委員 こちらに女性の管理職の早川事務局長さんがおられます。市役所も女

性管理職が少ないですよね。比率的に女性の働いている方が少ないかもしれないですけど、「女性管理職になりたがらないわけがある」というようなことを一度伺ったことがあるので、少しその辺の話をしてください。

■教育長 早川事務局長。

■事務局長 いくつか理由があると思います。一つは、かつての名残で、昔女性が登用されていない時代があって、制度的に女性の管理職が生まれない時代があったわけです。男性に比べて女性の昇格が抑えられていた時代があり、その名残で、ちょうど管理職になるべき人たちがそこまで上がってないということがかつてありました。今は男女平等ですのでその辺は解消され、これから女性の管理職も増えていくのではないかというのが一つです。

もう一つは、女性に期待される社会的な役割で、同じように夫婦で働いていても子育てはどうしても女性の方にウエイトがあり、介護もどうしても女性の方にウエイトがあるので、管理職になったときに、家のことがあるのでそういう重要な役はできないという、社会的な役割みたいなところが、妨げになっているのではないかと思います。

あとは、意識の問題ですが、女性の自信のなさみたいなのところも少しあり、「私はそんな器じゃない」とか、「そんな大役はできない」というのがあっていいのではないかと思います。男性は案外、ある程度の年齢になれば周りもみんなそうなので自分だけ取り残されないように一段ステップを上がろうとする傾向があると思いますが、女性は能力があってもなかなか自信が持てないというようなことがあるのではないかと思います。

■教育長 田島委員。

■田島委員 小木曾教育次長さんがおっしゃたような、目指す理想像がない、それで自信がないとか挑戦する意識が低いということが結構あるのですね。私は、介護や子どもの面倒をみるということだけだと思っていたのです。物理的な問題だけで女性がなかなか管理職にならないのかなと思っていたのですが、そういう目標的なものとか、一番大事なものを掲げてないということも理由の一つだと分かりました。女性を登用するということは、今、世の中の風潮になっているところで、とてもいい着眼点だと思います。特に東濃、中津川あたりでは女性管理職が少ないということで、本当に頑張っていたらかなければいけない、そして、引き上げていただかなければいけないところですよ。物理的なことや、サポートすることはたくさんあると思うので、そういうところをしっかりと見極めながら、上手に導いていってあげてほしいと思います。

■教育長 小木曾教育次長。

■教育次長 そういった支援の部分では、育児短時間勤務という、育児休業が明けた後、半日だけ働いて帰るといったシステムが保障されているのですが、その権利を行使された方は中津川で4人です。が、岐阜市では3人です。飛騨地区では0です。県内で一番、女性のそういった生活に対して理解を示し援助したのは、平成30年度は中津川市が4名で県内トップです。今後もそういった女性の支援に関しては手厚く行なっていくつもりです。

■教育長 ほかにいかがでしょうか。人事異動方針でこうして出されますと、校長がこの趣旨を理解して職員指導して女性の支援に当たっていくことが重要な使命と思ってやってくれるのではないかと期待したいと思います。

田島委員。

■田島委員 若手の教職員に対する支援について質問です。ニュースや新聞では、若い教員になりたての先生が行き詰ったり孤立してしまったりして、重いことでは、自分で命を絶ってしまうとか、そういう事例があると聞いています。中津川では若手の方に大変手厚い配慮がなされていると聞いていますが、そこを詳しく教えていただきたいと思います。

■教育長 小木曾教育次長。

■教育次長 他市に比べて中津川市は新規採用職員に頼るところが非常に大きいです。中津川市よりも児童生徒数が多い多治見市は、毎年新規採用者が10名いるかいないかです。それは多治見市出身の教員の率が高いので、入れない状況です。中津川市、恵那市は、地元出身の教員数が基本的に少ないことによって、毎年新規の方に入っていただかなければ教員定数が埋まらないという現実を抱えておりますので、多いときには30名近くの新規採用者を迎え入れています。それだけの、はっきり言えば素人の方をお預かりして教育を成り立たせなければいけないので、手厚くしてあげようというよりは、促成栽培でも力を付けなければ子どもたちのためにならない、中津川市のためにならないということで、学校態勢で初任者の指導には当たっていると思います。また、中津川の各学校、また教員の意識が、非常にチームを大事にしております。ですので、初任を一人ほったらかしにするようなことはまずありませんし、学校で楽しいことを企画したりレクリエーションを企画したりしながら、そういった若手の育成だけでなく生活の面からの支援もしております。市の教育委員会としても、初任者、2年目の教員や、他市へ3年間行って帰ってきた中津川の子たちに対する研修等の充実も図りながら、研修を組み立てているところです。

■教育長 そのほかよろしいでしょうか。

ないようですので、議第31号については承認ということではよろしいでしょうか。

議第 31 号「平成 31 年度中津川市立小中学校教職員の人事異動方針について」は原案通り承認といたします。

これで本日の議事は終了しました。委員の皆さん、ありがとうございました。

事務局から次回の開催日程についてお願いします。末木事務局次長。

■事務局次長 次回は平成 31 年 1 月 23 日水曜日 13 時 30 分からにぎわいプラザ 4-1 会議室で開催します。よろしくお願いします。

■教育長 次回は 1 月 23 日水曜日 13 時 30 分からですのでお願いします。

以上で平成 30 年第 13 回中津川市教育委員会を終了といたします。お疲れさまでした。

[閉 会 (午後 3 時 4 7 分)]

〔署名欄〕
